

学校関係者評価報告書(令和5年度)

令和5年度の学校評価委員会を開催し、「KCS鹿児島情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日 令和6年3月23日(土)

学校関係者評価委員・・・6名

学識経験者1名, 企業関係者1名, 高校関係者1名

地域住民代表1名, 卒業生代表1名, 保護者代表1名

評価コメント

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 教育理念はぶれることなく堅持されており、教育理念・人材評価目標を実現するために、教育課程を改善する仕組みが確立している。 変化する社会や学生のニーズを考慮した、時代に即した人材育成がなされている。	特になし
(2)学校運営 学園グループ10校が共通した意思決定を行うことで、学校単独の偏った意思決定を先、時代に即した意思決定を行ったうえで、地域性を考慮した学校運営を行った。 ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されましたが、感染拡大を防止するための対策は引き続き取り組んでいる。 ・勉強以外の教育活動(各種式典や学園祭、クラブ活動やレクリエーションなど)についてもコロナ前の状況に戻している。 ・今年度は入学者数、在籍者数ともに過去最高であり、昨年度末から着工していた西側別館(2階建て4教室)を増築し、2Fトイレの拡張、進路指導室の改修も行い、教育環境の設備改善が図られている。	少子化の中、入学生・在校生が増えることは社会の要請に応えられている証左である。引き続き教育環境整備を計画的に進めてほしい。

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(3)教育活動</p> <p>概ね順調に教育成果を達成できている。</p> <p>IT系に比べると弱かったゲーム系授業についても九州4校共同で、東京ゲームショウに出展し、ゲーム・CG専攻の学生のモチベーションや制作意欲を引き出した。</p>	<p>学生アンケートで見えた課題に対する改善に取り組み、引き続き県下 No.1 の教育成果を出せるよう取り組むこと。</p> <p>実践型授業をより多く増やしてほしい。</p> <p>学生のやる気は大切なので、ぜひモチベーションが上がるような企画を増やしてほしい。</p>
<p>(4)学修成果</p> <p>退学防止に向け担任の個別対応だけでなく、体制を作りチームで取り組んでいることは評価できる。</p> <p>学生指導のための担任負担が大きくなっていることは理解する。</p> <p>資格試験の多くの合格者が出ていることは評価できる。</p> <p>応用情報、高度区分の情報処理技術者試験の合格者数が3年連続で九州 No.1 だったことは素晴らしい成果である。</p> <p>就職については就職希望者が全員内定を取れており、評価できる。</p>	<p>資格取得により自信を育む教育は KCS の特色である。今後も資格取得には真摯に取り組んでほしい。</p> <p>就職先は学生が選択することで、難しいとは思いますが、地元の活性化のためにも、県内企業への就職を希望する学生が県内に就職できるように、少しでも取り組んでほしい。</p>
<p>(5)学生支援</p> <p>学校だけではなく保護者とも連携して指導していることは良いことである。</p> <p>経済的な理由で学生が退学しないように、細かくサポートをしている。</p>	<p>本来支援を受けられる学生が支援を受けないことがないように、しっかりと告知すること。</p>

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(6)教育環境 別館の増築、実習教室の整備など、在校生の増加に対応できている。</p>	<p>設備が老朽化しないように、計画的に更新をすすめること。</p>
<p>(7)学生の受入れ募集 コロナ禍後も県外への流出を防ぎ、入学者が増えたことは、学生のニーズに応え、魅力をアピールできているということである。 定員の見直し後も、充足状況は問題ない。</p>	<p>KCS が IT 教育におけるブランドとなれるように、実績をもっとアピールしてほしい。</p>
<p>(8)財務 在校生が安定して増えているが、長期的視点では 18 歳人口減少、大学進学率増により収益環境は厳しくなることが予想される。 学費の科目を整理することは、わかり易くなり良いのではないか。</p>	<p>物価の高騰による光熱費等のコストが増えるのはある程度はやむ負えないが、固定費の削減・経費節約に努め、学費の上昇は最低限にしてほしい。</p>
<p>(9)法令等の遵守 学園のモットーである職業倫理と Quality Firest が浸透している。</p>	<p>特になし</p>

以上